

段階的整備手法について

段階的整備について(1)

①【段階的整備検討の必要性】

・『幹線 → 主要枝線 → 枝線』 全ての整備が完了しないと
効果が発現しない

⇒『幹線 → 主要枝線』整備だけでも多大な時間を要する

∴効果が早期に発現する方法を検討する必要あり



段階的整備により、効果の早期発現を図る

段階的整備について(2)

②【段階的整備検討の方向性】

- ・将来的に無駄(不要)にならない施設の整備とする
- ・計画降雨における浸水解消にはこだわらない



将来計画と整合を図りつつ、整備手順・手法を工夫して、
早期に効果発現する方法を検討

③【段階的整備手法の決定方法】

○「早く」

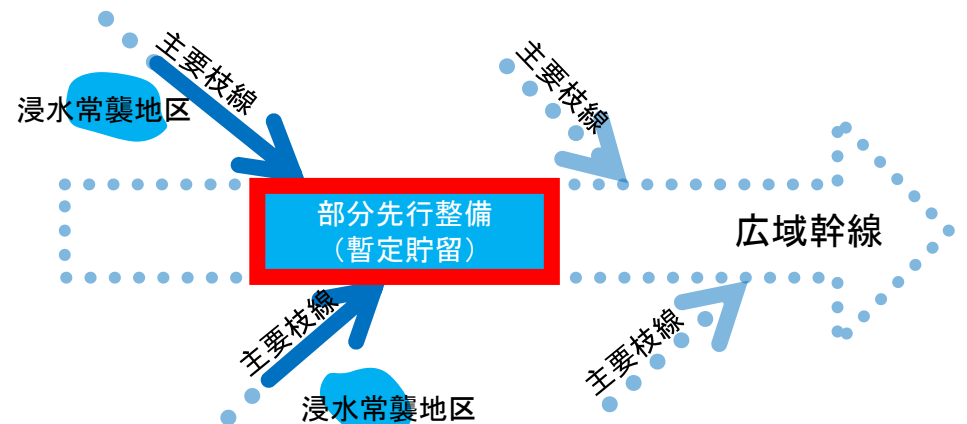
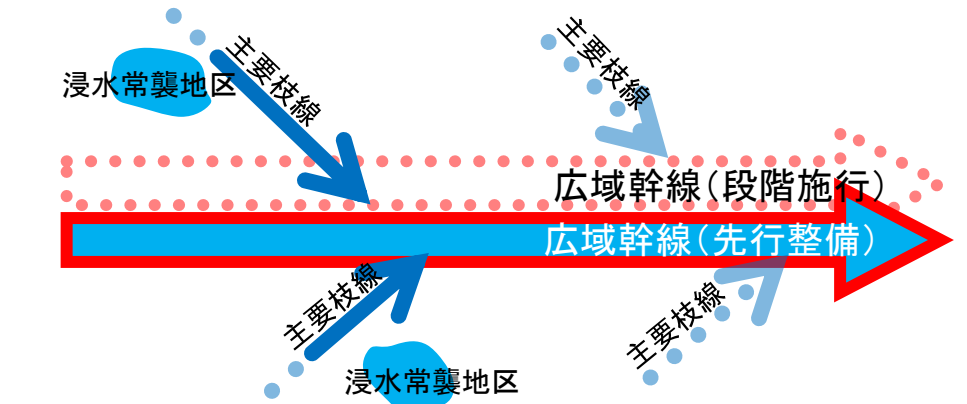
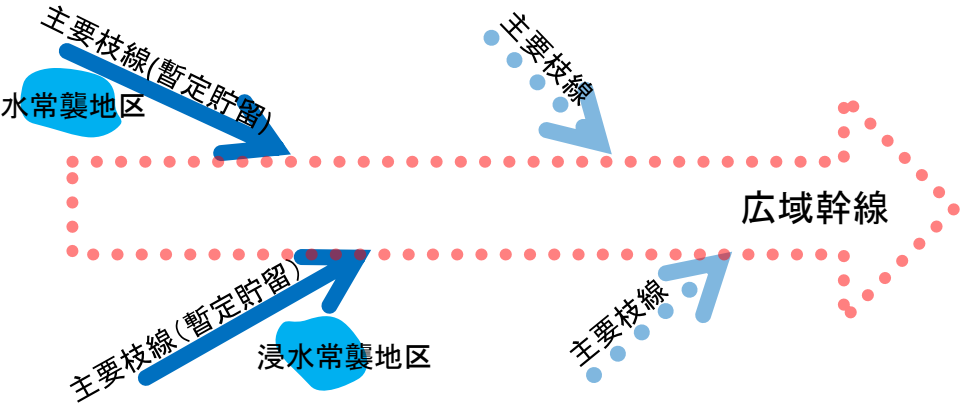
実際の事業期間ではなく、取水を完了するまでの期間で判断

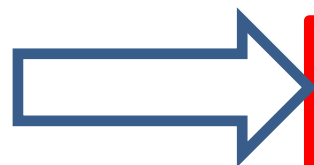
○「安く」

段階的整備により生じる追加費用を考慮した総事業費で判断

段階的整備について(3)

④【段階的整備手法の考え方の例】

<p>(1) 広域幹線の 部分先行整備による暫定貯留</p>	
<p>(2) 二条管方式の第1期 先行整備による浸水軽減</p>	
<p>(3) 広域幹線へ接続する主要 枝線の先行整備による暫定貯留</p>	



具体的な手法については、詳細検討を実施の上決定

段階的整備について(4)

⑤【協議会としてのまとめ】

○【段階的整備検討の必要性】より、

事業実施にあたっては段階的整備を導入していく

○段階的整備手法の検討にあたっては

【段階的整備の方向性】で検討を行う

○段階的手法の決定方法としては、

【段階的整備手法の決定方法】の視点で手法を決定する

○具体的な手法については、

今後、事業者決定後、詳細検討を行った上で導入範囲、

手法を決定していく